

第3回杉並第二小学校校舎改築検討懇談会

会 議 名	第3回杉並第二小学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和元年7月4日（木）午前9時58分～11時37分
場 所	杉並第二小学校1階 第二音楽室
出 席 者	懇談会委員13名
傍 聴 者	1名
次 第	1 開会 2 新委員挨拶 3 第2回懇談会の事例視察について 4 計画地の概要について 5 改築基本方針たたき台について 6 懇談会ニュースの発行について 7 事務局からの連絡事項 8 閉会
資 料	資料1 杉並区立杉並第二小学校校舎改築検討懇談会 委員名簿 資料2 計画地の概要 資料3 通学区域 資料4-1 改築基本方針（たたき台） 資料4-2 改築基本方針（たたき台 全体像） 資料5 懇談会ニュース（案） 参考資料1 桃井第二小学校施設概要

司会	配付資料の確認を事務局からお願いいたします。
教育施設計画推進担当係長	（配布資料の確認）
司会	よろしいでしょうか。 それでは、次第の2番目、新委員の挨拶です。 それでは、簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。
	（委員自己紹介）
司会	ありがとうございました。

	<p>また、続いて第2回の視察から同行していただいておりますが、今回、杉二小の改築の基本設計に当たりまして、株式会社石本建築事務所にもお手伝いしていただくことになりました。今回から懇談会にも同席してもらっておりますので、簡単に自己紹介をよろしく願いいたします。</p>
	<p>(株式会社石本建築事務所自己紹介)</p>
司会	<p>それでは、次第の3番、第2回の懇談会において2校を視察してまいりましたので、前回の時間の都合で意見交換がとれなかったところがございますので、視察を終えて杉二小にこんなところを取り入れたほうが良いなど感じたことや、またのご意見、ご感想をいただければと思っております。前回、方南小学校、そして桃井第二小学校を視察してみて感じられたこと、ざっくばらんで構いませんので、何か感想いかがでしょうか。</p>
委員	<p>先回はどうも、本当にいろいろなことが勉強になりました。ありがとうございました。みんな感心することばかりだったのですけれども、1個だけちょっと心配していたことがありまして、桃二小の体育館の上、屋上にプールが置いてあります。一般の人はお気づきになったと思いますけれども、大スパンに平米2トンぐらいかかるプールを体育館の上に置くというのは、本当にびっくりしたのです。梁が数十メートル、流しています。技術的にはお金さえかければできることなのではすけれども、敷地が狭いから仕方ないとしても、私は逆にしたほうがよいと思います。</p> <p>それでもう1つは、プールというのは、温暖化ではないでしょうけれども、ある程度温度がなると子どもたちが日射病にかかるということで、プールを使用しないということを校長先生が出されるということを新聞でも聞いていますので、屋根つきか、室内に流すか、それかもしあれば地上1階に普通に置くというふうに、ぜひそれをお願いしたいと思っております。ほかは非常に感心することばかりでした。</p>
司会	<p>ありがとうございます。屋上にプールを置くことに関しては、何かあるのでしょうかね。難しい面や財政面や。</p>
学校整備課長	<p>今ご意見いただいた中で、桃二小は確におっしゃるとおり上にプールがあって、下に体育館です。敷地や建築設計上の関係でやりました。ご指摘の点もご心配としてはあろうかと思っておりますが、設計上は当然そういったものに耐え得るということで、構造上なっているというものです。</p> <p>あと、屋根をとのお話もございました。これは、建築の面積に算入しなければいけないというところで、屋根をつけると校舎のほかの部屋の確保の問題もあります。今つくっている高円寺は、屋根つきにしているのです。たまたま面積上でそれが可能だというふうになったので、我々も今ご指摘あったように、炎天下だとなかなか子どもたちがプールサイドで、例えば具合が悪くて休んでいる子たちも、逆に暑い中待っていなければならぬ。日陰のところはつくったりもしていますが、確にご指摘の点もあろうと思っておりますけれども、その</p>

	<p>辺も含めて、では杉二小どういう形がいいのか、またご意見いただければと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。そのほか。 委員をお願いします。</p>
委員	<p>私も2つとも本当に大変すばらしいなと思って、我々が、随分前ですけれども勉強したところとか、あるいは20年ぐらい前までは学校の設計というのは非常に標準的で、あんまり工夫がなかったけれども、最近、この20年ぐらいですか。ものすごく進化し工夫され、本当に学び舎として子どもたちが伸び伸びと体験できるというか、そういうのが工夫されていると思います。</p> <p>2つの学校をそれぞれ見て、共用部分が廊下とか通路、エントランス、踊り場とか、本当に広いし豊かだし、色彩計画もきれいで、いろいろサイン計画も本当によくできているし、すばらしいなと思ったのですけれども、考え方が2つの学校でちょっと違っていましたよね。</p> <p>最初の方南は、教室があって、そのすぐ外は本当に伸び伸びと広い共用部分で、いろいろ多目的に使えて、日常的にも子どもたちがそこで自由に過ごせるコーナーもある。だけれどもあんまりにも自由過ぎて、ちょっと教室が集中できないと、そういう弊害もあるというお話もあって。一方、桃二は、共用部分が仕切れるようになって、そこで多目的に、ある特化して使うといえますか。いつも広場になっているわけではない。仕切つてある目的に、それも多目的に使う。</p> <p>時代的に少し反省期に入ったのか、あんまり伸び伸びとやり過ぎるのもどうかという指摘もあったような気がするのですけれども、その辺を。これは僕は、実際に教育する現場の先生たちが、いろいろな立場の方々と、子どもたち等も含めていろいろ考えて、その学校にふさわしい解決策というか、提案をすべきではないかなと。だから、その決めていくプロセスが非常に重要なことづくしく思いました。</p> <p>いずれにしても、子どもたちが伸び伸びいられる場所をどうやってつくるかということが大きいテーマだと思います。それと設計者のセンスというか、頑張りようというので。僕は方南の階段室のところがとてもおもしろいなと思って。外から見ると外壁がものすごく工夫してあって、ワンポイントのすごくしゃれたアクセントがありまして、中入ると、ああ、階段室だったのかなという。採光の窓のとり方なんかも実にうまく工夫されていて、おもしろいなと思いました。</p> <p>それから中庭をいずれもみんなとっていましたよね。だんだん都市化していくと、中庭をとらざるを得ないというか、とってうまく解決するという、そういう方向も当然出てくると思います。そこを子どもたちが出やすいというか、せっかくつくるなら単に明かり取りではなくて、うまく使えないかなというふうにも思いました。</p>
司会	<p>ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。</p>

	では、委員。
委員	<p>本当にこの前回の2校の視察はとてもおもしろかったです。私も同じく、こういうふうはこの20年間、10年間で新しくつくった学校というのはこれだけすばらしいものかというのを知らなかったので、本当にびっくりとともにわくわくしました。今後の杉二小の改築がどうなるかということ、ちょっと楽しみです。</p> <p>それで1つ、先ほど委員からもお話があったのですけれども、プールのことというのを、今までただ学校の敷地内だけというふうに考えているかもしれませんが、実は私、こちらのヤゴの救出のことを手伝っているのですけれども、地域全体の自然の環境の一部でもあるのですね。あそこがあることによってこの地域のトンボが育つことができるという、そういうことも実は貢献しているのですね。だからといって、プールを外にすることというのは、それを理由としてつくる必要はないのですけれども、ただ、そういうこともあります。</p> <p>あと、もう1つ大きな効果というのは、このプールが外にあるというのは、雨水をそこでためることができる。ですから、水の水害に対しても一応貢献は少しはしているのですね。なので、桃二で特に思ったのですけれども、あちらの先生が今いらっしゃるのでお話ちょっと伺うことができたらいいなと思ったのですが、川がすぐそこにあることに対してどういうことを、どういうふうに対応したのかなということをお伺いしたかったです。</p> <p>私たち特にここで、周りが全部川なので、そこに対して水ができるだけ大雨のときに入らないようにするというのを、この敷地内でためることができると思うのです。そういうことによって、災害、防災に関しても、この地域全体に貢献することができると思うので、そういう要素をできる限り入れることができれば楽しいなと思います。それもプールも含めてなのですけれども、敷地内に緑とかいろいろあって、そこで水をできる限り吸収することができるような、装置というところちょっと言い過ぎなのですけれども、子どもたちが一緒にそこで自然と触れ合う、なおかつそういうふうには防災効果もあるという、そういうことができたらいいなと思いました。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員から、善福寺川のところで何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>桃二のそばのあの川は下におりられないという、こことは条件が少し違うかなと思います。それで、むしろ川という課題に対しては、どうしても土地が川に対して傾くというような傾向があったので、その部分をちゃんと回避していきたいというのと、それから、かつてはあの川も増水してということがあったので、それはもう既に解決済みの後、あそこの新しい計画が立ったので、その辺の水の回避については問題がないようにしていただいたという形なのです。</p> <p>それから先ほどちょっとヤゴの話が出たのですが、屋上にプールを置いているのですが、トンボも大したもの、結構高いところまで飛んでくるは飛んで</p>

	くるのですね。杉並第四小学校も屋上プールなのですが、そこでもヤゴ救出はやっておりましたので、それが体育館の上にプールという形で、いろいろその活動に向けて工夫はできるかなとは思っているところです。
司会	ありがとうございます。 委員お願いします。
委員	2つとも本当に対照的な感じで、方南小はガラス張りですごくオープンになっていて、開けていて明るくていいなと思うのですがけれども、その反面、あまりにもすけすけで、ちょっと落ち着かないのではないかなという気がしました。今学校は結構外部の人たちが、いろいろな方が入ってくるので、そうなると授業中とかに人がちょっと通っただけで、子どもたちがそっちへすごく気をとられたりとか、あと職員室というのはいろいろなものがあると思うのです。大事なものとか、見られてはまずいものとか、いろいろな子どもたちの資料だとかいっぱいあると思うので、あまりにも外から見え過ぎるのもどうかなというのを感じました。だから、カーテンで仕切れるようにするとか、場合によってそういう工夫をすれば何とかなのではないかなという気はするのですがけれども、教室は教室としてあったほうがいいのかというふうには私は感じました。
司会	ありがとうございます。 委員。
委員	私も今、委員がおっしゃっていたように、方南小はすごくオープンで、それもそれですごくいいなとは思ったのですがけれども、今、杉二小で先生方が取り組んでくださっていて、教室とかもあまり気が散らないように、物はできるだけ隠すではないですが、目に入ってこないような環境づくりをしてくださっているので、そういったところは子どもたちが集中をするためにも、オープン過ぎないようにしていただくのがいいのかなと感じました。 あと、桃二小さんでは、すごくいいなと思ったのが、階段の色分けをされていたところがすごくいいなと思いました。子どもたち、走ったら危ないよとかいうことが結構多々あって、これが災害とか起きたときに、階段おりましたよとなったときに、色分けがされているとどっちかにきちんと寄ることができるのかなと思ったので、そういうところは取り入れてもいいのかなと感じました。 あと、両校靴箱が木でつくられていたので、すごくぬくもりもあっていいなと感じました。 あとはICT授業で、今は杉二小は黒板に白いのを張っているような状況なのですが、桃二小さんはすべて可動式の大テレビみたいな感じでやっていたので、そういったところは杉二小でも取り入れていただけるとありがたいなと思いました。
司会	ありがとうございます。 そのほかいかがでしょうか。

委員	<p>それぞれすごく時代を反映した特徴のある校舎だなと思いました。少なくとも私もこの校舎で育ちましたけれども、随分変わっているのだなというのはすごく感じました。今であればまた今のはやりというか、今だったらこういうものというのがきっとあると思いますので、それはすごく楽しみだなと思いました。</p> <p>あえて1点気になったこととしては、すごくオープンなスペースをたくさんとられていていいなと思う反面、教室の数がどうしても固定されてしまったりとか、恐らく10年前とか20年前であれば子どもの数が減っている時期であったと思うので、今後そこまで増えないだろうというような話もあったのかなと。</p> <p>ただ、一方で、今この辺の地域だとかなり人数が増えてきていますし、高井戸小なんかもあふれているという話もある中で言うと、もう少し教室の可変性みたいなのを担保しておかないと、ちょっと厳しいのかなと。子どもが増えることに対してはすごくいいことだと思いますけれども、では自分の地域の小学校が子どもがあふれて教室が足りないとなったときに、安心して子育てができるかなというのはちょっと感じましたので、その辺はケアができるのであればしたほうがいいかなと思うのです。</p> <p>あとは、私がこの学校に通っていた時に一番誇りに思っていたのは、校庭の広さでした。「杉二って校庭広くていいよね」というのはすごく言われていて、どうしてもセットバックの話とか出てくるのだと思いますので、この校庭の広さをどうにか残せないかなというのは、卒業生としても思うところですね。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのほかよろしいでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>いいですか。</p> <p>私がこの学校を卒業したころは学校にプールもなかったし、体育館もなかったから、もうついていくのが大変だったのだけれども、プールの使用目的が、子どもが泳ぐということだけなのか、あるいは地域の防災拠点としてのプールのスペースを使うことが考えられるのかどうか。水だけではなくていろいろなものが、物資なんか来ると思うのですけれどもね。置く場所は恐らくないと思うのですね。そうすると、例えばプールのスペースというのは、かなりそういう意味では有効になるのかなと。そうすると、屋上にあるのはどうかと。もっと低いところが運び込む、運び出すというのが便利かなと。そういう観点を考えてもいいのかなという気はしますけれども。</p>
司会	<p>防災の拠点というところでは、何か新しい体育館や、それからプール含めて、どんな方向性やどんな方針みたいのがあったのでしょうかね。</p>
学校整備課長	<p>今のプールのお話で、最初の委員のお話の中で申し上げましたが、どうしても屋根をつけたり屋内にプールをやると、それが面積に跳ね返ってしまうというのがあるので、どうしても屋上のあいているスペースにやれば、面積上有効だと。たまたまその面積に余裕があれば屋内に取り込んだり、屋根をつけたり</p>

	<p>というのはできる。そうすると、長く使えるというか、杉十なんかその典型で、あれは区民プールとしても共用していますので、ああいう形ができると。視察なんかをすると、ああいう形がいいというご意見もあるのですが、たまたま面積上余裕があって、なおかつああいうふうにできたというのがあるので、決してあれはスタンダードにはなかなか得ないと思います。</p> <p>高円寺学園も、屋根を可動式でつけるのですが、あれは3つの学校、小学校2つと中学校を合わせた小中一貫教育校ということでつくったので、要はプールの授業のコマ数が足りないということが物理的にあったので、屋根をつけて、その面積を入れた上で費用もかけてやりましょうと。ちょっとそういう事情があったので、では、杉二もせっかくだから今のご意見のように屋内に取り込んだらというと、ちょっとなかなか、では面積上どうなのかなと。これは皆さんのご意見聞きながら、どういうスタイルが杉二にとっていいのかというのがあります。</p> <p>プールに水が張ってあれば、それを消火なんかにも使えるというメリットも当然ありますし、体育館、当然、防災機能充実ということで、今特にエアコンなんかのお話が昨年来出ておりますが、もうこれからつくる学校には全て当然つけるという方針では区で考えていますので、今度新しい杉二小の体育館にもそういった安心して避難していただけるという形で冷暖房をつける。または、防災の機能もさらに充実をしていこう。倉庫も充実して、備蓄品も充実という流れになっていくのかなとは思っています。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは続きまして、次第の4番目に移りたいと思っています。校舎改築を進めるに当たって、基本的な敷地条件を整理したほうがよいと思っておりますので、本日は資料2の「計画地の概要」と資料3「通学区域」の資料がついていと思いますが、事務局から説明をお願いいたします。</p>
営繕課営繕係主査	<p>それでは営繕課から、お配りしております資料2の「計画地の概要」についてご説明をさせていただきたいと思っております。基本的な情報としまして、その敷地に係る関係法令と、それから周辺環境、既存施設の概要についてまとめた資料になっております。</p> <p>まず、用途・地区等についてご説明をさせていただきます。左上にあります絵が都市計画図というものでして、杉並区で定めている都市計画の内容になっております。</p> <p>右に凡例がございますが、薄い緑色の地域が第一種低層住居専用地域となっております。今回建築の対象となります杉並第二小学校及び災害備蓄倉庫の敷地につきましては、全て第一種低層住居専用地域に囲まれております。</p> <p>さらに、右下の丸で半分に分けて、上に80、下に40と書いてある数字がございますが、これはこの地区にかかっております容積率と建ぺい率を示しているものになりまして、容積率については80%で、建ぺい率については40%となっております。</p>

続きまして、下にあります用途地域についてご説明させていただきます。基本的には、杉並第二小学校の敷地と災害備蓄倉庫の敷地についての法的条件は同じになっております。

面積につきましては記載のとおり、杉並第二小学校は10,781平米、災害備蓄倉庫に関しては306.66平米となっております。

用途地域につきましては、第一種低層住居専用地域となっております。第一種低層住居専用地域といいますのは、低層住宅の良好な環境を守るための地域とされておりまして、その地域の中には住宅及び小規模な店舗や事務所を兼ねた住宅、小・中学校などが建てられる地域となっております。

続きまして、建ぺい率になります。40%と書いてあります。建ぺい率につきましては、敷地面積に対して上から建築物の占める建築面積の割合の制限となっております。

続きまして、指定容積率80%となっております。これは、敷地面積に対しまして、建築物全体の延べ床面積の割合の制限となっております。

続きまして、防火地区。今回は準防火地域となっております。防火地域の趣旨としましては、市街地における火災の危険を防除するために定められる地域になっておりまして、杉並区ではほとんどの地域が準防火地域に指定されております。

続きまして、高さ制限。10メートルとなっております。原則この地域で建てられる建築物の最高の高さは10メートルまでとなっております。これを超える建築計画を行う際には、許認可等の手続が必要となります。

続きまして、高度地区。第一種高度地区となっております。高度地区というのは、いわゆる北側の斜線制限に当たるものでして、北側の隣地への圧迫感をなくし、日照、採光、通風などを確保するために定められています。

続きまして、日影規制になります。測定面1.5メートル、3時間/2時間と記載をしております。ここは少々難しい部分がありますので、後々の建築計画の中でご説明をさせていただきたいと思っておりますけれども、趣旨としましては、敷地の周囲の日照を確保することを目的として、建築物の高さの制限をするのが日影規制の目的となっております。

備考にあります埋蔵文化財包蔵地区域についてですが、今回、杉並第二小学校と、それから南側のお寺にかけて、埋蔵文化財包蔵地区域ということで指定をしています。埋蔵文化財というのは地中に埋もれている文化財のことであり、その土地のことを埋蔵文化財包蔵地区域と言っております。

用途地域に関しての簡単なご説明は以上になります。

続きまして右側に移りまして、周辺環境についてご説明させていただきます。杉並第二小学校、三方が道路に囲まれておりまして、北側は隣地に接しているという状況になります。

北側からいきますと、北側は全て住宅地に面している隣地境界線となっております。場所によっては高低差があります。

	<p>東側につきましては前面に区道がございまして、幅員は 7.27 メートルから 8.25 メートルとなっております。道路と敷地の間には高低差がありまして、約 2.4 メートル程度の高低差となっております。さらに、道路の反対側には善福寺川緑地、さらに善福寺川という配置関係となっております。</p> <p>敷地の南側につきましても道路がございまして、こちらも区道となっております。認定幅員が 2.73 メートルと書いておりますが、場所によっては 4 メートルに拡幅されているところもございまして、この道路につきましても、狹隘道路に指定されておまして、4 メートルに拡幅すべき道路となっております。</p> <p>続きまして、西側になります。西側についても区道になっておまして、通称鎌倉街道と呼ばれている道路になります。道路幅員としては 5.45 メートルありまして、その道路と敷地とは高低差がないような状態となっております。また、道路沿いの体育館の少し南側の部分には、すぎ丸のバス停がございまして、</p> <p>あと、参考までに写真を載せておりますが、皆さん委員の方はよく御存じかと思っておりますので割愛させていただきます。</p> <p>そして、周辺道路の拡幅整備等につきましても今後の建築計画等と土木の関係部署等も含めまして、協議を行っていくことになっております。</p> <p>下の既存施設の概要について説明させていただきます。</p> <p>まず、既存校舎についてですが、北側にございまして管理棟・教室棟につきましては、昭和 35 年に最初の建築が始まり、順次増築を行いまして、一番最後が平成 5 年の給食室の増築となっております。</p> <p>東側につきましては、プール棟・特別教室棟・学童棟がございまして、こちらに関しては昭和 53 年の建築となっております。</p> <p>西側につきましては体育館がございまして、昭和 41 年の建築となっております。</p> <p>それから、今回敷地に含まれます災害備蓄倉庫につきましては、昭和 53 年の建築となっております。</p> <p>敷地内にも高低差がございまして、運動場をプラス・マイナス・ゼロと考えた場合には、プール棟が約 2 メートル低いというような状況です。それから西側にあります体育館とその下の農園については、約 2 メートル高いような状況になりまして、敷地全体として 4 メートル程度高低差がある状況でございまして、</p> <p>右の表につきましては、面積を記載しております。校舎部分に関しては現在 5,930 平米程度、体育館面積が 600 平米程度ということで、合わせまして 6,500 平米程度の延べ床面積となっております。先ほどお話もありました運動場面積につきましては、約 4,094 平米となっております。災害備蓄倉庫につきましては、敷地面積が 300 平米、倉庫の面積としては約 90 平米となっております。</p> <p>敷地の概要の説明としては以上になります。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、続いて資料 3 も説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推	<p>資料 3 で、杉二小学校の通学区域になっております。この赤の線で囲ってあ</p>

進担当係長	<p>るところが現在の通学区域になります。この緑の線が通学路になります。先ほどや前回お話がありましたが改築中の校庭の確保というところについては、東田中のテニスコートを改修して、運動場として使わせていただくというような話は進めております。それ以外の部分についても順次検討しているところですので、ある程度、概要等まとまった段階でまた皆さんにはお示ししたいと考えております。</p>
司会	<p>ありがとうございました。 それでは資料2、資料3について、何かご質問等ありますでしょうか。 お願いします。</p>
委員	<p>資料2の高さの限度が10メートルと書いてありますけれども、今の校舎は高さどれぐらいかってすぐ出ますか。</p>
営繕課営繕係主査	<p>北側にあります管理棟・教室棟については、約15メートル程度になっております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
司会	<p>そのほかにごございますでしょうか。 大変うれしかったのは、災害備蓄倉庫も含めた形で校舎改築として入れていただいているというところは、これからの防災の拠点としてはとてもいいところかなと感じました。どうもありがとうございました。 それでは、次第の5番目「改築基本方針たたき台について」ということで、こちらは今日のメインテーマとなっております。事務局からの資料説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは資料4-1「杉並第二小学校校舎改築基本方針（たたき台）」と、あと、資料4-2の「改築基本方針（たたき台 全体像）」を合わせてご覧ください。 資料4-1の右半分の「これまでの主な意見・要望」という部分なのですが、こちらにつきましてはこれまでいただいております、例えば今年の3月18日に学校運営協議会から出ました第二小学校改築に係る要望書と同じく、PTAの方からいただいたアンケート結果、杉並区まちづくり協議会からいただいた要望書、第1回、第2回等のご意見をこちらにまとめて、抜粋をして載せているという形になります。 こちらのご意見・要望の趣旨を大きく3つに分類しまして、基本方針としてまとめ、それぞれ「ビジョン、目標、取組」というふうに整理をいたしました。 資料4-1はちょっと文字数が多くてわかりにくい部分もあるので、ポンチ絵として4-2を作成した次第でございます。また、こちらの主な意見・要望についてはあくまでも意見・要望ですので、中には相反する内容が含まれていたりとか、実現するには課題が多いものや、実際実現は困難なものなども含まれておりますので、それはご了承ください。 あと、こちらの意見・要望の末尾にあるAとかB、Cというものにつきましては</p>

	<p>ては、こちらのたたき台の取組のA、B、Cなどに対応するようになっております。</p> <p>例えば、右上の欄の一番上の①の「個別支援が可能な小部屋や多目的スペースを十分に確保 (A)」とあるものについては、左側のたたき台のA、一斉指導、チームティーチングというようなところにリンクしているような形になっております。</p> <p>ビジョン1～3、目標1～6、裏面もあって、A～Mまであって、ご意見等がととてもたくさんあったので、分量が多くて申し訳ないところなのですが、こちらの項目立てを整理しましたので、こちらのご意見を何かいただければと考えております。今回のたたき台をブラッシュアップして、次回には基本方針案として引き上げていければと考えております。</p>
司会	<p>ありがとうございました。ただいま改築の基本方針のたたき台ということでの説明がありました。さまざまな要素が出ておりますが、このたたき台をもとに基本方針をさらに肉づけしていきたいと思っています。かなり分量が多いので、ビジョン1、ビジョン2、ビジョン3に分けて、それぞれ15分ずつぐらい議論したいと思っておりますので。</p> <p>まず、たたき台の全体像から、ビジョン1として「これまでの杉二小の伝統と特色を継承するとともに、高機能かつ多機能で変化に対応できる学校づくりに取り組みます」というところで、目標、取組、これが青い線で示されているところ、さまざまなおところと関係しているというところでこのような表になっているかと思いますが、このビジョンに対して、目標や取組のところでもう少しこうしたほうがいいのかとか、何かつけ加えるところがありましたらよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>意見交換する前になのですけれども、これはたたき台で、我々の各代表している団体とかに持って帰って、その意見を聞いてからまたその意見をこちらで発表するということは、次回になると思うのですけれども、可能でしょうか。ちょっとそのプロセスのことについて確認です。</p>
学校整備課長	<p>皆さんいろいろな団体を代表してお見えになっているので、今、委員がおっしゃったように、当然今日の議論を踏まえて、なおかつ持ち帰って、そこで広くみんなの意見を聞いて、それでまとめていただいたものをまた次の会にというのは、これはもうそういうやり方で、逆に我々はそうしていただいて、みんなの合意の上でこの方針をつくったと。そういうふうなことでまとめたいと思っています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
司会	<p>それでは、思いつくところからで構いませんので。 委員どうぞ。</p>
委員	<p>どこに入れるかはちょっとわからないのですけれども、ビジョン1、2、3の中のどこかに入れていただきたいのは、要は地球温暖化に代表されるように、</p>

	<p>環境というのは快適な環境ではなくて、地球というものに対してということは、先進国としても本当に当たり前のことだと思うのですね。だからビジョンの1、2、3のどこかに、省エネルギーとかエネルギーといったことをちょっとうたわれたほうが、外に対しても非常にいいのではないかと。実施上もそうだと思うのです。</p> <p>だから環境というのが、要するに人間がアットホームな感じになるという環境というのがいっぱいとられているのですけれども、地球温暖化に代表されるような省エネ、それから創エネ、そういうことをビジョンの1、2、3のどれかにぜひ入れていただきたいと思います。</p>
学校整備課長	<p>今のご意見の趣旨だと、このたたき台のポンチ絵で言うと、多分取組のFあたりがエコスクールだとか、快適で温もりのある施設。あと、皆さんのご意見の中にも、当然太陽光だとか取り入れる、または二重ガラスで直射日光で、そういったものを避けると、そういったご意見もあるので、そういった部門を踏まえてということになると思います。</p> <p>そうすると、ビジョンの2は周辺環境も含めて、そういった地球環境とか地球温暖化というような文言を少し入れるかどうか。そういう議論になっていくかなという気はいたしました。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。</p>
委員	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>ビジョン1、目標1に関連するかもしれないのですけれども、子どもたちにとってすごくわかりやすい色彩計画というか、そういったお話が出てきていたので、ビジョン1が学校の建物に関連することかなということで、そういう子どもたちにとって学びやすい、わかりやすい色彩計画、サイン計画ということを入れてもらえればと思います。</p>
司会	<p>そのほかいかがでしょうか。</p>
委員	<p>高機能、多機能と言うと何かすごくプラグマティックになるので、もうちょっと学び舎としての心の問題とか、精神的な問題とか、友達をつくるとか、何かヒューマンな言葉も入ったほうが、理念としてはもうちょっといいような感じもしますよね。さっきのグローバルな環境問題というのも大きい現代の思想だと思うのですけれども、この大きなビジョンとしては、そういうのがちょっと欠けている感じはありますよね。</p> <p>確かにビジョン1は建物、施設、空間そのものに深く関係しているところですよ。子どもが一番日常的に勉強する場所。</p>
委員	<p>今のお話に関連して、居心地のよさとか、子どもたちが過ごしやすいとか、居心地がよく感じるとか、それがこの中に入ってくるというか、それが一番かなと思いますので、ぜひビジョン1の中に子どもたちの視点というか、それがいいかなと思います。</p>

委員	<p>そうすると、教える先生というのも本当に重要だと思うのです。先生と子どもたちのいい関係というか。</p> <p>あと、桃二で拝見した図書室が良かったです。あの舞台みたいな、ステージみたいな。みんな登ってね。あれいいなと思いましたね。書架も非常に工夫されているし、本当に使う立場を考えて、伸び伸びと何か可能性を引き出してくれるようなね。随分よく考えられているなと思いました。そういうのって、高機能、多機能だけでは何か想像できないファクターだと思います。</p>
委員	<p>これもまた内容というよりも、このプロセスのやり方のことなのですけれども、できたらこのビジョン3つあって、あと目標もあってという、これは割と行政の資料でよくあるようなものなのですけれども、1つはちょっとスローガンみたいな、この全体をまとめるようなそういうスローガンみたいなものがあったらわかりやすいかなということが1つと、あともう1つは、これ、言葉がとても難しいと思うのです。今回できる限り学校の中で、特に児童も一緒にこの学校のことについて考えようということを今、先生方たちも頑張っているんで、子どもたちがわかるような言葉を使って、このビジョンだけでもいいから書き直すというのはどうかなと今ちょっと思いました。</p> <p>先ほどの子どもたちが居心地いいという環境をつくるというのも、ビジョンも含めて子どもたちがわかりやすい言葉で。そうすると、反対にさっきの多機能とかそういうのって、悪い言い方ですと、子どもたちから見るとちょっとごまかしなのですよね。ですから、わからない言葉をもっと本当にわかりやすい具体的な言葉というふうにすると、素人も含めて、子どもたちではなくても素人も含めてとてもわかりやすいかなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。</p>
学校整備課長	<p>今、渡辺委員からお話があったスローガン、これは運営協議会からいただいた要望書の中で、改築に当たってのスローガンということで、今回改築ニュースの創刊号をお見せしていますけれども、そこに掲げている「皆で創る 令和の未来を拓く」と。これは逆に提案いただいたのでそのままニュースの中にも載せて、これがいわゆるこの杉二小の改築のテーマというか、そういう意味では、提案をそのままお出ししているんで、もしあれだったらそれを踏まえた上で、ビジョンのさらに上にこういう改築テーマといったものを掲げるということのも1つの考え方かなという気はいたします。</p>
司会	<p>私もとても「皆でつくる」、意見を出し合いながらみんなで作るということがとても大事ななと思っています。子どもたちを含め、また、ここにいらっしゃる委員の方々を含め、みんなで作っていくことによってよりよい学校が生まれるのではないかと思いますので、ぜひこの「皆でつくる」というところは入れていただきたいなと思っています。</p>
学校整備課長	<p>では、これをメインテーマにということですね。</p>

委員	<p>みんなでどんなイメージの学校をつくるか。</p> <p>あと、杉二のロケーションとか、この場所というのを、ほかの学校を視察させてもらえばもらうほど、非常に恵まれているなど。だからこそ一種低層で10メートルという抑えはあるのですけれども、さっきおっしゃったように校庭が広いというのはあるわけだし、高台の一番いいところであって、もうそれこそ縄文から人が住んでいたかもしれないぐらいの非常に恵まれていて、緑も多くて、裏には川があつてという。こんなに恵まれたところ、そして歴史もあるというか、熊野神社の前という。そういうプライドというか、そういうのがもう少し出てきてもいいかなど。2番目のビジョンで「緑地」というだけになってしまうと、そういう歴史的背景とか、場所の重要性とかつていうのがあんまり出ないで、単に「緑地」というね。緑の量みたいな感じになってしまうので。それは本当に重要なことだと思うのですね。杉二は本当にプライドを持って、このいい場所をどうやって、この財産、恵まれた条件を生かしていくのかというのは、このビジョンを考えると非常に重要なファクターだと思います。</p>
委員	<p>今の委員のご意見関連するのですけれども、私も特に善福寺川緑地、都の所有地であるとは思いますが、例えば江戸時代も含めて、昔はどういうふうに使われていたのかというか。例えば里山的に使われていた、この場での議論ではないのですけれども、ぜひそういう昔の使われ方というか、そこをちょっと知りたいと思っております。というのは、そこが整備の、今後そういうのを戻すも含めてどうやって、本当に緑が多いだけでずっといくのか、それともそういう昔のあり方みたいなのもちょっと考えるのかとか、いろいろ方針もあると思うので、直接ではないかもしれないけれども、ぜひ何かの機会のごときに、資料でも結構ですので教えていただければと思います。</p>
委員	たしか田んぼですね。
委員	斜面地も田んぼ。
委員	いやいや、一面もう。
委員	一面田んぼですか。
委員	ええ、全面。もうずっとこの川沿い両側がずっと田んぼ。大宮八幡のほうまでずっと川の両側が田んぼで広がっております。その上にあると。
委員	高さがギャップがある。
委員	いや、ここは丘ですから。もう先に丘ですから。かなり下です。
委員	ですよね。その斜面地のところはどうなっているのでしょうか。
委員	斜面地というか、もろに最初からここは丘になっちゃっていますから。
委員	そういうことなのですね。わかりました。
委員	だから、ちょっと高いところがもう住宅、下は田んぼという。まあ一面の田んぼですね、畑ではなくて。私が小学校低学年まで田んぼでした。
委員	ありがとうございます。

委員	もともとは善福寺川は氾濫源。本当にさかのぼると。だから、ここは水がつかっちゃってもいいと。そういう中に田んぼがだんだんつくられていって。
委員	ですから、水はたまりやすい土地ではあるのでしょうかね。
委員	だから、その上が非常に重要で。もちろん田んぼが重要だったのですけれども、畑より田んぼのほうが農地としては価値があったので、杉並は非常に恵まれているのですよね。田んぼも多いという。でも、上がまた非常に重要な土地だったと。
委員	そういう意味では、この杉二の敷地というの是一等地ですよ。
委員	一等地ですよ。
委員	ですから、昔から古代の人が住んでいたという。この熊野神社にかけて、いろいろと遺跡出てきますから。 それから1つ、この敷地の面積の容積率というのは、かなり余裕があると見たらいいのですか、この学校の建築に際しては。
施設整備担当課長	資料2ですけれども、敷地の面積が約10,000平米程度、容積率が80%となっていますので、10,000平米に80%を掛ければ約8,000平米となってきますので、今日お渡ししている桃二小学校のパンフレット、一番最後に書いてあります延べ床面積ですと9,900平米と書いてございます。近年の学校ですと、そういったさまざまなスペースとかありますと、この9,000平米程度の学校も多いというところの中で、この80%というのがなかなか今後の計画の中でも課題といたしますか、考えなければいけないところになってくるのかなと考えております。
委員	現在の杉二小学校の容積というのはどのくらいあるのですか。延べ床面積。
営繕課営繕係主査	延べ床面積は資料2、右下にある「既存施設の概要」というところで、校舎面積5,926平米と。 今ですと恐らく60%程度かと思います。
委員	今よりも余裕を持ってつくれると。80%ですから。
営繕課営繕係主査	今よりは面積多くはとれますけれども、この桃二小ほどの面積はつくれないかなと思います。
委員	多分敷地の特性として、この高低差2メートルずつあるというのがおもしろくもあり、難しくもあるのだと思いますけれども、その辺をどう使うのか、もしくははなくすのかで、大分計画が大きく変わる気がします。それをビジョンとかこのレイヤーに持ってくるとは思えないですけれども、大前提の条件としてどうするのかというのは、早目に決めないといけないのかなと思います。
委員	このときに恐らく善福寺川緑地の側の外との関係をどうやったらよりよい方向に導けるかというファクターも加えて、それで内部の高低のレベルをどうしたらいいかという。 本当に昔は上と下で分かれていました。カクンと中が分かれていて、下のレベルにかつてのプールが後からできたのですよね。それを今のようにならして、鎌倉街道より2メートル下がっているわけですか。というところで、一体にし

	たわけですけれどもね。いろいろな考え方はあると思います。
司会	私建築のことはあまり詳しくないのですが、この地下みたいなのところの使い方みたいなのところというのは、何か条件みたいのはあるのですか。地下に掘っていくとか。
施設整備担当課長	地下につきましては、特段地下をつくってはいけないとか、そういった規制はございません。ただ、先ほどから出ていますとおり、こちら川のすぐ横ということもございますので、何かしらのゲリラ豪雨対策というか、そういったことは考えていかなきゃいけないかなと考えてございます。
司会	雨水をためておく機能だとか、そういうことですか。
施設整備担当課長	そうです。先ほどの桃二小の件もそうなのですが、桃二小も校舎の地下のところに、地下のピットというものがございまして、そこで雨をためると同時に、校庭部分にも雨水の貯留槽を設けておりまして、全体で言えば、25メートルプールで言えば3杯分程度の雨水はためられるようにしております。 あとは、先ほどの桃二小の件ですと、過去の水害の被害のレベルよりも1階の床面を高くするとか、そういったことで川の横の環境を生かしてというか、それを解決するような形で計画しております。
学校整備課長	高低差の話で言うと、皆さん本当にご存じのとおり、鎌倉街道から一旦校庭に下がり、さらに今の学童のあるほうにまたぐぐっと下がっている。さらに、備蓄倉庫は今度は東側の善福寺川緑地に面しているので、さらにそこは4メートルぐらい下がっているんで、全部の高低差で言えば、備蓄倉庫まで入れれば7メートル近い高低差があるので、1つ我々が考えたのは、高低差の解消というのも必要なのかなと。ご意見の中にも、例えば備蓄倉庫の土地と一緒にするならレベルを合わせてほしいだとか、今擁壁があるほうからダイレクトに緑地のほうに出られるように入り口をとれば、そういった段差解消なんかもある程度念頭に置いておかないといけないというのはありますが、それをあえてビジョンの中で、そういう段差解消というのが、杉二の例えば今の大きなウイークポイントだとか、課題となれば載せる必要は出てきますけれども、そこまででないとするれば、取組の中の改善の1つで入れるとか、そういうことになるかなとは事務局側としては思っています。
委員	恐らく、ウイークポイントという見方もあるけれども、特徴だというふうにポジティブに捉えたらいいと思うのです。それで、大変な公共財産である緑地に隣接しているという。これは段差と一緒に存在しているわけですよね。だから、そこはメリットとして生かしたらいいのではないかなと思うのです。
学校整備課長	それは皆さんの意見で、それを利用して今のレベルを維持して、あえてどうなのだと。設計上はつくり方がだんだん難しくなりますけれども。この段差でうまくやってほしいとかね。そういうのはあります。
司会	お願いします。
委員	先ほど私が言った、子どもたちがわかるような言葉で書き直すという話です

	けれども、考えてみたのです。それで、今のことに直接関係するビジョン2で、「川に囲まれた丘の上の学校」と。そういうスローガンはどうかとか、そういうふうに今思ったのです。丘の上の学校という、丘の上の教会みたいな感じがいいかなと今思ったのですけれど。そういうふうにわかりやすい言葉を使ってね。そうすればイメージも湧くと思うのです。そうすると、段差のこととかも含めて検討できると思います。
委員	今の川のレベルと、今の運動場のレベルというのは、どのぐらい高低差があるのですか。
学校整備課長	7メートル弱。
委員	7メートルぐらい、今の校庭で。
学校整備課長	そうです。校庭の一番、鎌倉街道のところから備蓄倉庫の下まで、今7ぐらいです。
施設整備担当課長	善福寺川緑地のほうの区道と現在の運動場を比べると、4.2メートルぐらいです。さらに鎌倉街道まで行くと、先ほど言った7メートルだとか6メートルだとか、そのぐらいの差になります。
司会	ありがとうございます。
委員	今、北側に校舎が建って乗っているわけですがけれども、これはかつての小学校とかみんなそうでしたよね。でも、これが北側の裏に日陰になるとか、いろいろ問題もはらんでいるのでしょうかけれども。そして15メートルの既存不適格の部分もあります。だからこれを、今の小学校の計画ってどういう感じが多いのですかね。これは本当に従来のパターンどおりですよ。
学校整備課長	<p>この間見ていただいた桃二小もその例で、今まで北側にあった校舎を実は南側に移して、北側を校庭にしたと。というのは、以前の建てかえの形だと、南側の校庭のところプレハブ校舎をつくって、そこで子どもたちやっている間に校舎をつくりかえて、また北校舎、南校庭にするのですが、正直そのコストだとか、いろいろ広場が、校庭が狭くなるということもあるので、それを多少確保しつつということで今回は南側校舎という形にして、北側校庭にしたと。</p> <p>高円寺で今つくっている学園も同じで、全くあれも、南校舎にして今度北側校庭というふうになるのですが、当然メリット、デメリットが出てきますので、どういう手法がいいのか。</p> <p>ただし、杉二小もまさしく今は北側校舎なので、やり方としたり大きく、同じように南校舎にするのかとか、いや、今までどおり運動場の中に仮設校舎をつくって、北側に引き続き校舎。これはもう皆さんのお考え方だとか、当然コストも実はいろいろ絡んでくるので、ご意見いただきながら早目に、そこの辺の配置は基本、核になる場所なので、意見を集約できたらなと思っています。</p>
委員	それで言うと高低差があるので、いわゆる一般的な平地と比べると日当たりはとれる前提があるのだと思うのですよね。なので、南か北かで言うと、多分校庭に光が入らないと乾きが悪いとかいろいろあるのだと思いますけれども、

	<p>そこに関しては先ほどおっしゃられたとおりで、1個の特徴として捉えると、ほかの学校と比較できない部分が結構あると思います。</p> <p>冒頭申し上げたとおりで、今の在校生が受けるデメリットも減らしたいというところを考えると、全部トータルで考えたときにどうやるのがいいのか。この段差を生かして、日当たりの条件とかをクリアしながら、どう移動していくとみんなにとって一番いいのかという考え方をぜひ取り入れたい。</p>
委員	<p>そうですね。プロセスね。今、数年間の間、いい形で工事をしながら使っていくという。どれがリーズナブルかという視点も重要ですよ。</p>
学校整備課長	<p>次回以降、多分幾つかのパターン案が、今建築設計事務所をお願いしているので、まさしく北側校庭か、南側校庭か、それから西か東かと。4方向あるので、そこをどう組み合わせるか。そうすると、こういうふうな仮設校舎がこうなりますとか、運動場が全く使えませんか、こういういろいろな案が出てくるので、その中でどのやり方がまさしく今の在校している子どもたち、または入ってくる子どもたちにも、非常に長い期間の工事期間になりますから、どの辺で、杉二小というのはどういうやり方だという意見にまとまってくるかなと思います。</p>
司会	<p>それでは、今ビジョン1、ビジョン2のところはいろいろとお話が出てきたところかなと思っております。ビジョン3のところ、地域最大規模の公共施設である点を踏まえて、可能な限り小学校、それから地域が共用できる施設とするとともに、将来にわたって共存し続けられるよう、柔軟で効率的な施設としますというところの、みんなで使っていこうというところではいかがでしょうか。</p>
委員	<p>これもさっき渡辺さんがおっしゃったように、例えば「地域の人々に愛される学校にする」とか、そういう何かあったほうがいいのではないですかね。</p>
委員	<p>「地域のために、地域をつくる学校」。地域「が」つくるというのもあるのですけれども、地域「を」つくるというのもいいかなと思ひまして。</p>
委員	<p>ほかの意見としてください。</p> <p>今、一番最初に申し上げましたのですけれども、地球環境というのは大げさかもわかりませんが、杉並区に限らず、教育委員会でいつもおっしゃっている大変重要なキーワードがあるのです。これは「持続可能」ですね。だから、今回も、昨年から強く「持続可能」というのを教育長がおっしゃっていますし、特にビジョン3に、私は省エネとか創エネを入れる必要はないと思いますけれども、ビジョン3の後のほうに、将来云々ではなくて「持続可能な学校とする」とか、そういうことを入れていただければ締まると思います。ぜひそうお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>1枚目の12番は、これは二重ガラス化で、この前見学会させてもらったほとんどの学校全部二重ガラス。金を使ってびしっとやっていたらいいや。これは省エネになるということで、Fということではこれは異存はないですが、特に16番のプールは云々ということですが、これはまさしくどこに</p>

	<p>入れるかといったら、安心・安全なのです。構造的にですね。</p> <p>次の、時間がないので行きます。それから6番なのですけれども、Hは入りませんし、あと、Dというのもクエスチョンですね。</p> <p>それからもう1つですけれども、その後の7番はこれはあくまでも安心・安全のほうではないかと思います。ぜひ次回までに検討していただきたいと。</p> <p>それからもう最後ですけれども、議事録を送っていただきました。こういうものは事前に目を通しておいてくださいとしたら、それでぱっと説明、時間も効率的にできるのではないかと思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>委員のおっしゃるとおりで、資料については、次回以降は事前にお送りするようにいたします。</p> <p>あと、このAとかBというのは、私のほうで要望書から便宜上振り分けたという部分もありますし、取組や目標になかなか落とし込めない内容の部分もありましたので、そこについては再度精査した上で作成したいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
司会	<p>そのほか、ビジョンに係るところでの目標、取組、または具体的なイメージとしての、そこを考えていくことでビジョンにもまた戻ってこれるかなと思いますが、何かご意見等ございますでしょうか。</p>
委員	<p>この学校の外、開けるところは開く、つなぐ、地域、僕たちも使えるという、それがどこにどう可能なのかというのは大きいテーマだと思うのですけれども、その1つの可能性が、善福寺川緑地公園の側からアクセスできるような。そこに体育館やプールもあるということも含めて。まあリーズナブルにあそこに持っていくという可能性もあると思うのですけれども。そのときにあの擁壁のところをうまく改良して、緑地とつなげて、外の人も入れるような。セキュリティの問題を考えなきゃいけないのと、動線もしっかり考えつつですけれども。そういう開くという、公共施設であるこの辺を、場所とか空間、具体的なここの固有の条件を考えながら、どうやったらできるかというのは大きいテーマだと思うのですよね。そのときに段差があるとか、善福寺川緑地が後ろにあるとかというのは大変メリットではないかと。やりやすいというか、可能性を秘めているのではないかなと思いますね。</p>
司会	<p>そのほか何かご意見いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私これを見て、本当にさまざまな意見があってそれをまとめるというのは本当に難しいことだと思うし、それをちゃんとうまく分けてくださったのも本当にありがたいと思います。特にこのICTの環境とか防災とか自然とかというのは、今の時代の背景をすごくあらわしているなという、そういう感じがすごくします。</p> <p>ちょっと思ったのですけれども、次回、前の人も話もそうだったのですけれども、例えば今後の人口の変動というのですかね。過去、ICTといっても多分この5年、10年ぐらいでもう騒ぎは終わってしまうのではないかと私は思う</p>

	<p>のですね。それとも多分5年後になって、例えばA Iとかロボット導入しようとか、そういう話になったりとかすると思うのですね。ですから、そういう未来をわかるような数字とか資料とか、それはもうさっきの人口もそうなのですけれども、地域の人口の変動とか、土地利用の変化とか、あともしくは教育方針のこともそうですよね。児童が本当に何人ぐらい、10年後は何人ぐらい、50年後は何人ぐらいというふうに想定できないかもしれませんけれども、もしそういう数字があったらこれにとっても参考になると思うのですね。そういうこと、もし例えば教育委員会で既にもう用意してあるデータがあるのだったら、共有してほしいなと感じています。</p> <p>なかったら、それはもう我々が想像するしかないと思うのですが、そういう具体的なものがあると、こういう取組とか目標も考えやすいかなと思います。</p>
<p>学校整備課長</p>	<p>今お話があったように子どもの数、非常にこれは重要で、クラス数が決まってくる。そうすると、教室を今度の新しい校舎は何部屋やらなきゃいけない。当然その辺は予想といいますか、推測、推計は我々今、学務課とも協力してやっていますので、当然今度スペックといいますか、それを示すときに、最大何クラスで想定していますよと。それで区の予想、10年、20年と先へ行けば行くほど上がるのか、下がるのかって非常に難しく、この10年間下がると思っていたのがちょっと上がってきている、そういう状況もあります、せっかく使っていた部屋をまた普通教室に転用して、せっかくの部屋がなくなるということもあるので、我々としてはその辺も見きわめた上で皆さんには提供はしていきたいと考えます。</p>
<p>司会</p>	<p>そのほかいかがでしょうか。</p> <p>では、私から。最近、放課後等居場所事業だとか学童クラブが学校の施設の中に入ってきて、私はすごく子どもたちの安全が守られているなど感じています。土曜日を含め、それから放課後も今は6時まで面倒を見てもらえたりしながら。また、でもそういった学童の時間もしかしたらもう少し長くなっていくというふうなところも考えられますし、学校の中で今は一輪車等々も使いながら、校庭をその時間までたくさん遊べているというのはとてもいいことだなと思っているのです。</p> <p>ただ、桃二の改築のところでは、居場所事業とそれから学童クラブの面積が大きかったななんて思っています。それを何とかこのビジョン3の中で、みんなが使うところだからこそ、もっとお互いが使い合えるというか、シェアし合えるような設計になってくると、午前中は学童クラブの人はいないわけで、学校の子どもたちがそこでも学べ、または午後や休みのときは、子どもたちがそこで生活できるみたいな形で、もっともっとシェアできるような形にしたら、それこそ校庭を広めに、または施設をシェアすることによって、施設ももう少し有効に使えるなんていう形にできると、とてもこのみんなで使い合えるというところがかなえられるのかなと思っています。</p>
<p>学校整備課長</p>	<p>今学童の話が出たので。杉二小は構内に学童クラブを移して今やっています。</p>

	<p>実は学童クラブも非常に最近人数が多くて、学年も今は6年生まで希望があればということで受け入れる。今度杉二の学童についても、相当予想としてはかなり大きな人数を児童青少年課から言ってきています。今、校長先生がおっしゃったように、学童クラブはあくまで独立した組織・空間として見るので、どうしても個別につくらなければいけない。放課後等居場所事業は、これは学校の中のあいているスペースを共用してできるのですが、どうしても学童は、今の段階の考えだと独立したスペースになると、実は相当平米をとるというふうになっているのですね。</p> <p>さっき建ぺい率、容積率で大体8,000を超える部屋は確保できそうですよと。今の校舎が6,500平米ですか、体育館も入れて。だから、相当増えていいかなと思っているのですが、それぞれで今は狭いというのを今度みんな充実させてくると、実は面積も相当足りないところまでくるので。とはいうものの、学童クラブも将来の利用者の増というのをかなり見込んでいますので、かなりの大きなスペースをとらざるを得ないというのがある。今後具体的にその設計案いろいろ出てきたときにスペックをお示ししながら、こういうところで学童という話ができますけれども、そんなことも議題になってくるのかなと思います。</p>
<p>児童青少年課計画調整担当係長</p>	<p>今学童クラブは、こちらの別棟というのですかね。こちらで実施をさせていただいてまして、杉二小学校に関しては、今学童クラブ1階の部分を使わせていただいているような形になっているかと思うのですけれども、1つは学童クラブのお部屋を授業でも活用していただくような形で、今回授業で使えるような机であったりですとか、あとは椅子であったりですとかを購入させていただいて、学校ともシェアできるような形をとらせていただいているというのが現状でございます。</p>
<p>司会</p>	<p>それでは、そろそろ時間になってきたのですが。</p>
<p>委員</p>	<p>先の、今出ておりました人口の推移等もなのですけれどもね。幾つかこれまでの新しい学校を見ていくと、新しくなると、なぜか子どもの数その時だけ結構急に増えているのですよね。そこはきちっと見通していかないといけない部分かなと思っています。高井戸第二小学校では窓のない教室を教室化しなければいけないという事態が起こったりもしましたし、天沼小学校は図書室を教室に変えなければいけないと。何を大事にしていくかというのをいつも持っていないと、さっき桃二の図書室を褒めていただいたのですけれども、骨幹、器だけよくなればいいのかではなくて、そこでどんな子どもをどう育てていくかというのを皆さんで共有していただいて、そこにはきちっと学びの場としての機能と、そして環境というところが大きくかかわっていくと思うのですね。だから、そういうことが絶対に起こらないように見通すということがすごく大事なかなと思いました。</p> <p>さっき地下の話がちょこっと出たのですけれども、地下は湿気とかそういうのは大丈夫かなとか、素人の私としてはすごくね。ただ、ここは本当に高低差</p>

	をうまくしたら、地下と呼ぶけれども普通では1階みたいいきつとなるのでしようね。そんなことも含めて、そこのあたりは専門の方にいいようなデザインをやっていたらと期待が持てるなと思っております。
司会	ありがとうございます。
委員	今、この時点では早いかわからないのだけれども、これから教育の仕方、授業の仕方がずっと変わってくると思うのですね。従来みたいに先生が前に立って、生徒がみんなこっち向いて、机座ってるという授業から大分変わってくるような気がするのですよ。だからその辺のことを教室の設計の段階でもう少しフレキシブルにいろいろ考えていかないといけないと思うのですけれども、私ら教育の専門家ではないから、その辺は先生方のご意見を聞かないとわからないのですけれども、そういうこともちょっと頭の中に入れておいて考えないといけないかなという気がします。
委員	ある人がネット上で書いていましたが、本当に1年生、低学年と6年生とで同じようなスタイルの教室である必要はないのではないかと書いてあって。だって、保育園とか幼稚園ではそんなふうに黒板があって教壇があって、みんなこう向いてというのでは多分ないのではないかと思いますので、その辺、今、岩田さんおっしゃったように本当に教え方も変わっていくし、学年によって違っていてもいいかもしれないし、その辺は教える側の方と本当に議論して、おもしろい、いい、楽しい学び舎ができるといいですね。
委員	余談かもしれないのですが、そういう意味だと本当に日本人の子どもだけではなくて、いろいろな国の子どもが学ぶ時代も来るかもしれないですね。だから、それが空間とどう対応するかというのはあるのですけれども、ただ、本当に多様な子どもたちが学ぶようになるというのは、すごくその方向だと思うのですね。どう対応するかというのはこれからだと思いますけれども。
委員	桃二小の理科室の半円型の机ありますよね。あれが今思い浮かびました。教室があんなふうだったら、すごいなとちょっと思いました。 80年先までというすごいかなり未来で、桃二が一番新しいからすごくワクワクして行ったのだけれども、結局黒板あるし、テレビは画面はICTのがあるけれども、ああ、黒板だよねと。それは変わらないし、椅子も机も、ああ、変わらないなという。変わらないところもあるけれども、でも、未来どうなっているのだろう。黒板、チョークみたいな。そういうところでね。
学校整備課長	そういったICTの機器はすごく最近進歩していて、例えばパソコン1つにしても、10年ぐらい前だとわざわざコンピュータ室、パソコンルームをつくって、そこに子どもたちが行って学ぶというのが一般的でした。大きなブラウン管みたいなものから始まって、小さくなっていきました。今はもうそういう専門の部屋ではなくて、タブレットを子どもたちに持たせて、自分の机でできるようにどんどん、どんどん変わってきて、そういうしつらえとか機器も、多分建築のそのときの最先端のものは一応入れるようにしていますが、あまりにも

	<p>進歩が早いので、5年、6年経つともうそれが陳腐なもの、古いものになってしまうので、ちょっと難しいかなという気もしますがけれども。今の黒板もいろいろ進化はしていい。電子黒板で、チョークではなくて、本とペンとか電子ペンとかいろいろなのでできるようになってくるかなと。そういった機能は、新しい学校であればあるほど取り入れていくだろうなという気はしています。</p>
司会	<p>ありがとうございます。それぞれ予定の時間になってまいりましたので、本日出されたご意見を事務局でまとめていただいて、また次回の懇談会で意見がまとまるように議論できたらと思っています。また、それぞれの各団体に持ち帰っていただいて、またそこで出てきた意見等も事務局にお伝え願えればと思います。</p> <p>それでは、次第の6番、ニュースの発行について事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>こちら資料番号がないのですが、先ほどご説明した「皆で創る 令和の未来を拓く 杉並第二小学校校舎改築ニュース」ということで、第1回と第2回のもをまとめたものを今回作成いたしました。</p> <p>タイトルだけでは不十分なのと、事前に要望書をいただいて、スローガンを設けて皆で思いを共有してほしいというご意見もありましたので、こちらのニュースのところにそのスローガンを載せさせていただきました。</p> <p>こちらにつきましては、来週、再来週ぐらいに配布を行いたいと思っています。配布先については、学校や、町会には掲示板等、回覧板等でご協力いただきたいと考えています。また、近隣の子ども園や保育園、幼稚園、学童クラブや児童館等にも配布をしたいと考えております。現在のところ 3,000 件以上の戸数に配布を検討しているところです。</p>
司会	<p>ありがとうございました。ただいまの説明に対して、何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。</p>
委員	<p>こちらの中の「基本設計業者が決まりました」のところの4行目なのですが、 「実施設計図も行った業者」という紹介がちょっと何か違和感と いいですか、設計図を行った業者という、何かこれ適切な紹介の仕方がある気がする ので、ちょっと確認したほうがよろしいかと思ひます。</p>
司会	<p>ありがとうございます。そのほかよろしいでしょうか。</p> <p>それでは今後のスケジュールについて、事務局から連絡をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	(事務連絡)
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会の言葉を学校整備担当部長の中村部長よりお願いいたします。</p>
学校整備担当部長	<p>学校整備担当部長の中村でございます。本日はご挨拶というよりもお礼です。建設的なご議論をいただいたと思っています、我々行政側と地域の皆さんとの目的、目標が一致しているという思いが本当に強まっています。実質的には今日3回目なのですが、今回、初めてこういう議論をしました。通常ですと、</p>

こういう今回の資料の4-1のようなたたき台を出すに当たっては、まず最初に行政側がたたき台をつくります。それに対して皆さんが意見を言って、ようやくこの右側ができるのですけれども、ここは違います。杉二は。先にこちらが上がってきたので、これを踏まえてこちらをつくったのです。ちょっと難しい言葉で済みません。そこは少し直しますけれども、皆さんとしっかり建設的な議論をさせていただいて、新しい学校ができるなという思いをすごく強くしました。

具体的にはさまざま本当にいいご意見がたくさんいただけたかなど。子どもたちが過ごしやすい、先生もそうだし、そういった意味では、特に地域と一体となった、ただ単に特徴は緑地だけではないというお話もあった。歴史もあります。そういったさまざまなご意見を踏まえてしっかりやっていかなければいけないなと思いました。

それから先ほど、新しい学校だけではなくこれから工事に入るに当たっての子どもたちのことをしっかり考えてほしいという意見がありましたこれはしっかりやります。そういったことも含めて、いい学校を皆さんと本当につくっていけるなという思いがしました。

それから、これからも資料づくりに関しては、たくさんのご議論がもっとももっとたくさん出るように、事前配付できればと思っているところでございます。

あわせて、もっと環境に配慮するように、サステイナビリティ、持続可能というのがあります。そういった学校にもしていかなきゃいけないという新たな課題も出てきました。

今、僕の頭の中で少し整理しただけでも、幾つものポイントかがもう全部整理されていますので、こういったことも踏まえてしっかりやっていきたいと思っています。本当に本日はありがとうございました。